

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	里の西保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	京都府保育協会		

平成21年 2月 6日

総 評	<p>里の西保育園は、働く母親を支援し、子どもたちの元気な歓声が一日中響きわたる保育園でありたいとの信念の下、昭和55年に新興住宅地に設立されました。</p> <p>「強く正しく美しく」を保育目標に掲げ、情操保育の一環として、専門講師による指導を取り入れています。</p> <p>法人内に高齢者福祉施設を有しており、核家族の子どもが多い地域性を考慮して、子ども達が思いやりや優しさを持つ心を養えるように、これら施設と積極的に交流しています。</p> <p>また、食育の大切さを学ぶ機会として、自園の「農園」で四季の花や野菜を栽培し、収穫した野菜を料理し、食しています。</p> <p>地域の子育て家庭には、園庭開放や育児相談を行うなど保育園の有する機能を積極的に地域に還元し、子育て支援に努めています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育目標や保育課題は職員会議で全員が共有し、目標の実現に向け、また、課題解決に向け取り組んでいます。また、保育士全体は子ども一人ひとりを受容し穏やかな態度で接し、落ち着いた雰囲気の中で保育を行っています。 ・子どもの身長・体重を基に年齢によりカロリー計算がされ、給食の定量を定めるなどきめ細やかな健康管理を行っています。 ・子育て支援において、専門のカウンセラーによる育児相談を行うなど積極的に子育て支援を行っています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全対策のため、事故発生対応マニュアルを整備し、事故原因を分析して、事故防止対策を職員に周知徹底されるとな良いでしょう。 ・職員の資質向上を図るため、職員個々について研修計画を定め、研修成果を専門性の向上に繋がられるとな良いでしょう。 ・苦情解決の体制や内容を文書化して保護者に周知すると共に、保護者からの意見などのフィードバックは掲示するなど具体的な取り組みを実施されるとな良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	社会福祉法人 城陽福社会 里の西保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成21年2月6日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

[自由記述欄]

■園の理念、基本方針、保育目標は明文化され、ホームページ、園のパフレット、入園のしおり、園だよりの表紙に記載し、各保育室に掲示しています。職員には月1回の職員会議、週2回のクラス連絡会の中で管理者より周知しています。地域には昨年度末まで園だよりを配布していました。利用者には保護者会(クラスより代表者)で話をするように努めています。地域に向けて継続的に取り組みを実施するとお良いでしょう。

■事業計画は、組織としてクラス連絡会議で園長、主任保育士が意見を集約し、作成しています。計画された事業は、管理者と職員が委員会を設置し、目標に向っての取り組みを実施しています。利用者には保護者会で報告をしています。

■園長、主任保育士は、毎週2回のクラス連絡会、月1回の職員会議を開催し、職員との連携を図り、保育目標の実現や保育課題の解決に向けた取り組みを協議するなど、保育の質の向上を図るための取り組みを行っています。

■理事長をリーダーに法人全体で法令遵守のため会議を開催し、職員に周知を促す取り組みを行っています。また、経営や業務の効率化に向けて法人全体の管理者会議を週1回行い、光熱水費等経常経費をリスト化した資料を基に経費節減に努めています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	B	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	B
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	A
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	B
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	A	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		A	A	

【自由記述欄】

- 管理者は、事業経営をとりまく環境について積極的にデータを収集し、法人内で福祉サービス全体の動向を把握しています。
- 必要な人材に関する基本的な考え方や人事管理に関する方針が確立しています。人事考課を法人全体で年3回実施しています。考課基準は明示しています。また、職員の悩みなどが相談できるカウンセラーを置き相談できる体制が整っています。
- 福利厚生センター(共済会)に加入するなど、総合的な福利厚生事業に取り組んでいます。
- 研修の基本は現場であり、組織として目ざす保育は、先輩が後輩に教えることが必要であるという方針の基に、OJTを基本とした研修に取り組んでいます。職員研修は職員が自由に選択して参加しており、研修終了後、会議で報告を行っています。職員個々について研修計画を定め、成果の評価を行い次回の研修に反映できるとお良いでしょう。
- 実習生の受け入れは、主任保育士が窓口になり、受け入れの手順書によりオリエンテーションを実施しています。
- 子どもの安全確保のため、朝、夕に保育園前に警備員を配置しています。園内に事故防止対策委員会(月1回)を設け、ヒヤリハット報告を基に事故防止対策を検討しています。事故発生対応マニュアルを整備するとお良いでしょう。
- 地域の敬老会、福祉まつりの参加、法人内老人施設との交流を行っています。園庭での夕涼み会は地域の方とともに開催しています。
- 定期的に近隣の小学校、中学校との連携の会議が行われています。育児相談室に専門員が週1回程度来園し、育児相談活動を行い相談記録を残しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	B	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	C	B	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	B	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	B	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B	B
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			A	B	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A	B	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	B	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		B	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	A	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	B	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	B	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	B	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A	A	

【自由記述欄】

- 制服や体操服で性差への固定観念を植え付けないような配慮をされると良いでしょう。
- 家庭との連携を図る為、個人懇談会を年1回実施しています。保護者会の役員は、月1回、園長、主任保育士、保護者を交え会議を行っています。
- 法人としての個人情報保護マニュアルは整備されています。保育園として具体的に子どものプライバシー保護についてマニュアルの整備をすとなお良いでしょう。
- 苦情解決の意見箱は玄関に設置され、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を設置して掲示をしています。苦情解決の仕組みについては保護者会で説明を行っています。保護者からの意見等は毎月1回開催する保護者会でフィードバックしています。これらの取り組みについて文書化し、保護者全員に周知を図るとなお良いでしょう。
- 第三者評価を機会に自己評価委員会を設け自己評価を行っています。保育の質の向上のため改善計画を立て具体的な取組みを実施すとなお良いでしょう。

【共通評価基準 評価結果対比シート】

- 口頭で受け継がれている標準的な実施方法があります。文章化することで具体的なマニュアルとなります。標準的サービスの実施方法を記載したマニュアルの整備と現存するマニュアルの見直しをすとなお良いでしょう。
- クラス連絡会議の中でケース会議を行い、子どもたちの情報を共有する仕組みを整備しています。
- 園児の転園等に対して、転園先から要望があれば保護者の了解を得た上で、申し送りや引継を実施しています。
- 入園の際、入園のしおり、料金等の書類を配布し、説明を行い、内容を記録しています。
- 子どもの身体状況や生活状況は定められた統一の様式で記録しています。アセスメントの方法について定められるとなお良いでしょう。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	社会福祉法人 城陽福祉会 里の西保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成21年2月6日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	B	B
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	B	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	B	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	B	B
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	B	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

■ 保育計画は理念、基本方針に基づき作成されています。指導計画は毎月評価、見直しを行い課題を次月に反映しています。計画策定時に子どもの背景や家庭、保護者の意向等を考慮すると良いでしょう。

■ 子どもたちの登園時や保育中の健康管理マニュアルがあります。日々の健康状態は、保護者より登園時に提出される健康票で確認しています。

■ 健康診断、歯科健診の結果は保護者に手紙にて伝達しています。

■ 3歳以上児は時間差でランチルームで食事をを行います。給食は委託業者が作り配善を行います。子どもたちの身長、体重を基に年齢によりカロリー計算がなされ定量が定められています。喫食状況、残食状況をデータ化し、次月の献立に反映させています。給食会議には園長、主任保育士、管理栄養士、主任調理師、委託業者、保護者代表を交えて毎月1回行われています。会議の中でアレルギー疾患をもつ子どもに対して除去食、代替食の検討も行っています。誕生月の誕生会に保護者に試食案内を出して子どもと一緒に食事ができるように努めています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	B
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	B
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	B	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	B	B
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	B

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	B	B
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	B
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

【自由記述欄】

<p>■園内、保育室は清潔に保たれ、採光、換気に配慮しています。保育室に家庭的な自由にくつろげる場を設けるとなおります。</p> <p>■保育士は子ども一人ひとりを受け入れながら、穏やかな態度で接し、落ち着いた雰囲気の中で保育を実施しています。</p> <p>■園庭の横に農園があり、野菜の栽培が行われ、収穫した野菜は、給食として調理しています。</p> <p>■体操、空手、サッカー、音楽、リトミック、英語、造形など、専門講師による活動が行われています。</p> <p>■制服、体操服、トイレスリッパは色や形により性差の区別をなくすと良いでしょう。</p> <p>■乳児保育に相応しい環境整備や個別の指導計画、行動記録があり、きめ細やかな対応をしています。</p>

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	B	B
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	C	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	C	B
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	B	B
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	C	B
A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水回りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	B	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	非該当
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当

【自由記述欄】

<p>■個人懇談会は保護者の希望により行っています。それらの記録すると良いでしょう。</p> <p>■子育てに関する日常的な情報交換は、送迎時の会話や連絡帳によって行われ、必要に応じて記録しています。</p> <p>■保護者会主催により懇談会があり、園長と主任保育士が参加しています。今後は、クラス懇談会など、保育園が主催する懇談会を開催すると良いでしょう。</p> <p>■一時保育は在園児との交流を実施しています。連絡ノートを活用して子どもの状況把握に努めています。</p> <p>■調理場は業務委託されています。委託業者が調理場、水回りのマニュアルを整備しています。</p>
--